

授業科目名	小学校外国語活動の指導法(2100251)		
時間割名	小学校外国語活動の指導法(33110)		
時間割担当	熊田 岐子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・3		

授業の目標・概要

小学校学習指導要領で5・6年生(3・4年生)での「外国語(英語)活動」の時間が新設されたことを受け、その時間の目標や内容について系統的に理解すると同時に、小学校教育現場での実践に役立つよう具体的な教材を通して、英語活動の指導のあり方について学ぶ。加えて、英語の音声や基本的な表現等、指導に必要な知識や技能を身につけ、英語を通じて日本や外国の言語や文化に関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う活動を編成し指導する技術を習得する。

学習の到達目標

日本の国際理解教育と英語教育における外国語活動の役割と意義、学習指導要領で求められている内容を理解する。また、正しい発音・リズム・クラスルームイングリッシュなどの英語力を向上させ、指導案作成とその実践という授業計画力と運営力を身につける。

授業方法・形式

1. 学習指導要領と関連した項目を取り扱う。
2. 具体的指導について小学校教材や参考図書を参照し、実践的に調べる。
3. 実践力を養成するために、英語での発表を繰り返す行う。

授業計画

- 第1回 日本の国際理解教育と英語教育における外国語活動
国際理解教育の歴史、小・中・高等学校間の連携について学ぶ。
- 第2回 外国語活動の目標と内容
外国語活動の目標と内容の関係を踏まえ、学習指導要領のポイントについて学ぶ。
- 第3回 学習指導要領に基づいた学習指導計画
学習指導計画の作成上の配慮事項や指導計画、学習指導案の作成について学ぶ。
- 第4回 学習指導要領と教材に挙げられている英語表現
外国語活動で学習することが望まれる英単語と英語表現の正しい発音を学び、その指導を知る。
- 第5回 クラスルーム・イングリッシュの学習
授業実施に必要な英語を学び、想定される場面で、英語による指導の演習を行う。
- 第6回 早期英語教育理論 小学校5・6年生(3.4年生)での第二言語習得について学び、望まれる教授法を学ぶ。
- 第7回 発音指導法 受講生自身の発音矯正。外国語活動に適した発音指導法について学び、実演する。
- 第8回 言語活動の種類(歌・チャンツ)
音声教材の使用法を学び、教材を生かした言語活動を考え、実演する。
- 第9回 言語活動の種類(ピクチャーカード)
ピクチャーカードの提示方法と活用方法を学び、教材を生かした言語活動を考え、実演する。
- 第10回 言語活動の種類(絵本と紙芝居)
絵本と紙芝居の提示方法と活用方法を学び、教材を生かした言語活動を考え、実演する。
- 第11回 言語活動の種類(目標に応じた言語活動)
提示された時間目標を達成するための言語活動を考え、実演する。
- 第12回 言語活動の組み立て
他教科との連携を視野に入れた言語活動例を学び、それについて議論する。
- 第13回 英語での模擬授業1 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 英語での模擬授業2 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第15回 授業の総括

成績評価の基準

クラスルーム・イングリッシュなどの英語小テスト(20%)、学習指導案と模擬授業(30%)、定期末試験(50%)を総合的に評価する。

準備学習・復習及び授

1. 学習指導要領を繰り返し学び、疑問点を解決していくことが必要である。
2. 自発的に英語力、英語コミュニケーション力を磨くことが求められる。また、授業で行うクラスルーム・イングリッシュの小テストの学習、その復習が課される。
3. 指導案作成等の課題提出準備、英語での模擬授業の準備をする。

履修上のアドバイス

関連科目は、英会話・英語、他教科の指導法です。日ごろから教育問題、特に外国語活動に関する記事を読んでおいてください。他教科と比較しながら、外国語活動が何を狙っているのかを知っておきましょう。

教材・教科書

文部科学省編『小学校学習指導要領解説 外国語活動編』ほか

参考書

外国語活動指導実践集など